

平成30年度 学校関係者評価(中間期) 愛南町立内海中学校

[評価基準 A-目標値の80%以上達成 B-目標値の70%以上達成 C-目標値の60%以上達成 D-目標値の59%以下] 【アンケート結果 4-そう思う 3-ややそう思う 2-あまり思わない 1-思わない】

項目	経営の重点 ○中期の目標	評価指標【成果指標・取組指標】及び目標値	期間	評価	考察(◇)及び 改善方策(◆)	評価資料	平均値	アンケート結果 (%)			
								4	3	2	1
1 教育課程・学習指導	○ 確かな学力の定着と向上 ○ 確かな学力の向上	生徒に思考力・判断力・表現力等の向上を目指し、確かな学力の向上を図ることができたか。(わかる授業の推進)	中間期	A	◇ペア学習の習慣化、補充学習や学習トライアル、研究授業や見守り授業の実践によって、学力は定着しつつあるが、教科間の学力差や生徒間の学力差をなくすことが課題である。 ◆校内研修を充実させ、組織的な取組をさらに強化し、教科間の連携を図るよう努めたい。	教職員アンケート	3.1	10%	90%	0%	0%
			年度末			生徒アンケート	3.3	46%	42%	4%	8%
	○ 言語活動。体験活動の充実	言語活動・体験活動の充実と教育内容の確実な実施に努めることができたか。	中間期	A	◇伝え合う力を育てるために、言語活動の充実を図ってきた。また、海学習など総合的な学習の時間や学校行事、委員会活動を中心として体験活動を多く取り入れ、実践力を高めるように努めた結果、その成果は表れている。 ◆マンネリ化を防止するため、新しい取組を取り入れつつ、無駄なものを取りやめるなど、活動の見直しを図りたい。	教職員アンケート	3.4	40%	60%	0%	0%
			年度末								
	○ 家庭学習・読書活動の習慣化	家庭学習や読書活動の習慣化に努めることができたか。	中間期	B	◇内中タイムで学習の仕方を伝えたり、授業ノートの評価、賞賛を行うなど、家庭学習定着への手立てを講じてきた。教職員、生徒、保護者ともに評価は低く、目標値には届かなかった。 ◆2学期は自主ノートコンテストを行い、賞賛、評価、保護者への連絡等、定着への手立てを講じ、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 ◇結果はB判定だが、H29年度は教職員、生徒は2.7ポイント、保護者は2.6ポイントだった。少しずつではあるが、向上している。保護者の評価の変化が少ないということは、家庭で読書をしている姿が見られないためだろう。 ◆今後も図書日より等啓発活動を行っていく。	教職員アンケート	2.9	20%	50%	30%	0%
			年度末			生徒アンケート	2.9	23%	54%	12%	12%
						保護者アンケート	2.7	26%	30%	30%	15%
		学校関係者評価員の所見			学校の対応						
	○ 心の教育の推進 ○ 豊かな心の醸成	道徳的判断力を高め、豊かな心情及び道徳的実践力の育成に努めることができたか。	中間期	B	◇結果はB判定だが、H29年度は2.9ポイントと少しずつではあるが向上している。◆教科化に向けて、今後も道徳の授業の研究授業を積極的に行い、授業力の向上を図る。	教職員アンケート	3.1	30%	50%	20%	0%
			年度末								
	○ 道徳の授業の充実	道徳教育の充実に努めることができたか。	中間期	A	◇教科化に向けての取組がA評価になったと考えられる。 ◆今後も道徳の時間の授業改善、他教科等における取組、環境づくり、家庭・地域との連携などに分けて、具体的に取組んでいく。	教職員アンケート	3.2	40%	40%	20%	0%
			年度末								
	学校関係者評価員の所見			学校の対応							

項目	経営の重点 ○中期の目標	評価指標【成果指標・取組指標】及び目標値	期間	評価	考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	平均値	アンケート結果 (%)			
								4	3	2	1
1 教育課程・学習指導	特別支援教育の充実 ○ 特別支援教育推進体制の確立	特別支援教育コーディネーターを中心とした校内推進体制の強化、充実を図ることができたか。 目標値:教職員の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	B	◇支援を要する生徒についての共通理解や手立てが不十分であることがB評価につながったのではない。 ◆2学期は、各学級で支援が必要な生徒について個別の指導計画を立てて全教職員が共通理解のもと取り組む。	教職員アンケート	3.1	30%	50%	20%	0%
	人権・同和教育の推進 ○ いじめ防止	「学校いじめ防止対策基本方針」の周知と具現化に努め、いじめは許さないという強い気持ちを育てることができたか。 目標値:教職員の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇各教職員が管理職、生徒指導と連携し、いじめの芽に対応できていることがA評価につながったと考えられる。 ◆今後も教育活動全体を通していじめを許さないことを指導していく。	教職員アンケート	3.3	40%	50%	10%	0%
	○ 人権尊重の精神に育成	全教育活動の中で人権尊重の精神を養い、「差別しない」「差別に負けない」「差別を許さない」生徒を育成することに努めることができたか。 目標値:教職員の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇教育活動全体を通して、人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりに努めていることがA評価につながった。 ◆11月に行われる「校区別人権・同和教育懇談会」に向けて、計画的・組織的な指導を全校体制で行っていく。	教職員アンケート	3.2	30%	60%	10%	0%
	○ 人権・同和教育の視点に立った学級経営	相手の立場を理解し、互いを思いやる暖かい人間関係を構築することができたか。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇縦割り班活動を充実させ、思いやりのある温かい人間関係の構築に努めてきたことがA評価につながったと考えられる。 ◆運動会や文化祭など、縦割り班で行う感動のある行事を通して、相手の立場を理解し、認め合い、高め合い、支え合っていく集団づくりに努める。	教職員アンケート	3.0	10%	80%	10%	0%
			年度末			生徒アンケート	3.6	62%	35%	4%	0%
			年度末			保護者アンケート	3.1	22%	70%	7%	0%
	学校関係者評価員の所見				学校の対応						
	健康教育の充実 ○ 健康的な生活習慣の確立	家庭と連携し、早寝、早起き、朝ご飯、歯磨き、手洗いの習慣を定着させることができたか。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	B	◇歯みがきについては6・11月と継続して、赤染め検査・歯みがき指導等を実施した。また、食育指導は全校給食時のワンポイント指導を中心に、全校放送での啓発活動も実施している。しかし、昨年度より平均点が下がっているのでマンネリ化していると考えられる。 ◆生徒や保護者に対する啓発活動を継続し、生徒には根気強く個別指導に努め、保護者には、一方通行の啓発活動となるが、関心をもってもらえるよう工夫をしていく。食育指導は、新しくおにぎり弁当の日に挑戦する。	教職員アンケート	2.7	0%	70%	30%	0%
			年度末			生徒アンケート早寝、早起き、朝ご飯	2.9	31%	31%	35%	4%
						生徒アンケート歯磨き、手洗い	3.2	27%	62%	12%	0%
					保護者アンケート早寝、早起き、朝ご飯	2.5	19%	30%	33%	19%	
					保護者アンケート歯磨き、手洗い	2.7	7%	59%	30%	4%	

項目	経営の重点 ○中期の目標	評価指標【成果指標・取組指標】及び目標値	期間	評価	考察(◇)及び 改善方策(◆)	評価資料	平均値	アンケート結果 (%)				
								4	3	2	1	
2 生徒指導	環境教育・福祉教育の推進 ○ 環境教育の推進	「海学習」の充実・深化を図りながら、家庭・地域と連携した環境教育を推進することができたか。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇海学習は、学年の系統性を図つたり、事前の打ち合わせを密にしたりするなど生徒にとって意味のある活動となるように工夫をしてきた。その結果、意欲的に取り組み、地域の環境について興味関心を持つ傾向にある。 ◆海学習だけでなく、清掃活動やボランティア活動の充実などにも力を入れていきたい。	教職員アンケート	3.6	70%	20%	10%	0%	
			年度末			生徒アンケート	3.9	88%	12%	0%	0%	
							保護者アンケート	3.3	37%	59%	4%	0%
	○ ボランティア活動の推進	地域の一人としてのボランティア活動の推進を図ることができたか。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇1学期に通学路清掃を行い、地域、保護者のとともに生徒も参加した。夏休みのビーチクリーンは悪天候のため中止となった。学級委員会の呼びかけによる、「ちよこっとボランティア」も定期的に行うことができた。 ◆A評価となっているが、地域ボランティアの機会は多くないので、通信等を利用してボランティアの呼びかけや生徒の活動を知らせ、学校・保護者・地域が連携して、地域に貢献できる生徒を育てていきたい。	教職員アンケート	2.9	10%	70%	20%	0%	
			年度末			生徒アンケート	3.7	73%	19%	8%	0%	
						保護者アンケート	3.2	33%	56%	11%	0%	
	学校関係者評価員の所見				学校の対応							
	生徒指導の徹底と健全育成 ○ いじめ・不登校の根絶	一人一人の理解に努め、問題の早期発見、早期対応を図ることができたか。 目標値:教職員の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇学校生活アンケート、教育相談の実施、継続等で、いじめや生徒の悩み等の早期発見、早期対応を目指してきたことが、あり一定の評価につながったのではないかと。 ◆今後も継続していくこと、教師それぞれが更に生徒理解に努めることが重要。	教職員アンケート	3.4	40%	60%	0%	0%	
	○ たくましさの強化	挑む心を育むたくましさ(意力・体力)の強化に努めることができたか。 目標値:教職員、保護者の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	B	◇部活動において、総体や各種大会に全力で取り組むことができたが、結果が見えにくい事柄に対して意欲的になれない生徒がいることに課題を感じる。 ◆生徒が、自分に合った目標を設定し実践していく。半年後、一年後の自分を想像して、主体的に行動できる生徒を育てることが大切。	教職員アンケート	3.0	0%	100%	0%	0%	
			年度末			保護者アンケート	3.3	30%	67%	4%	0%	
	○ あいさつ運動	生徒会を中心として、地域全体で取り組むあいさつ運動が展開することができたか。 目標値:教職員、保護者、生徒、地域住民の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇継続して「ひにゃんこ」を使った挨拶運動で、地域への呼びかけを行ってきた。また、生徒総会や内中タイムで「あいさつ」について取り上げ、全員で考える機会を設けた。 ◆全てにおいて肯定率が高くなっており、目標値に達している。しかし、保護者、地域の中には「1」の評価もあり、学校以外での取組につながっていない部分もあり、強化していかなければならない課題の一つと考えられる。	教職員アンケート	3.3	30%	70%	0%	0%	
			年度末			生徒アンケート挨拶	3.3	42%	42%	15%	0%	
						保護者アンケート挨拶	3.0	30%	44%	19%	7%	
						地域住民アンケート	3.5	56%	39%	0%	6%	
	○ 学校生活の充実	学校生活を楽しく送ることができているか。 目標値:生徒、保護者の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇アンケートの結果からも生徒たちは楽しく生活することができている。 ◆楽しく生活するだけでなく、何事にも主体的に活動することができるような課題設定をする必要がある。	生徒アンケート	3.3	42%	50%	4%	4%	
			年度末			保護者アンケート	3.4	44%	52%	0%	4%	
	学校関係者評価員の所見				学校の対応							

項目	経営の重点 ○中期の目標	評価指標【成果指標・取組指標】及び目標値	期間	評価	考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	平均値	アンケート結果 (%)						
								4	3	2	1			
3 研 修	教職員の資質と指導力の向上 ○ 校内研修の充実	教育活動や校内研修を充実させ、教育専門職としての資質と指導力向上に努めることができたか。 目標値:教職員の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇計画的に校内研修の時間を確保していること、見守り授業等への取組がA評価につながったのではないかと。 ◆2学期は、道徳の研究を中心に授業研究を行ったり、主体的・対話的で深い学びについて本校の方向性について考えていきたい。	教職員アンケート	3.2	30%	60%	10%	0%			
			年度末											
	○ 教師としての人間性と専門性の向上	各種研修に参加し専門職としての資質と力量を高めるために自己研鑽することができたか。 目標値:教職員の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	B	◇担当する職務についての研修は行っているが、内容が個人のものだけになってしまうことがB評価になったのではないかと。 ◆それぞれが研修会で学んだことを、校内研修等で紹介し、共有していく。	教職員アンケート	3.0	10%	80%	10%	0%			
			年度末											
学校関係者評価員の所見				学校の対応										
4 安 全 管 理	安全で安心な学校づくり ○ 生徒の安全対応能力の育成	「自分の命は自分で守る」という意識を高め、危機意識や安全確保のために具体的実践力を育てることができたか。 目標値:教職員、生徒の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇生徒の意識は高いが、教員はそこまで到達できているとは考えていない。交通マナーの遵守をはじめ、まだまだ徹底できる部分はあるといえる。 ◆全体指導のできる場を設定するなど、定期的な指導・呼びかけを行っていく。	教職員アンケート	3.1	20%	70%	10%	0%			
			年度末										生徒アンケート	3.8
	○ 防災・減災教育の推進	東日本大震災から学ぶ、生きる防災・減災教育の推進を図ることができたか。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇砂防学習会が西日本豪雨災害のため中止となり、機会を逃してしまった。生徒の意識は高いので、引き続き機を捉えて適切な指導を行っていきたい。 ◆学校全体で防災教育の時間を設定できるように工夫したい。	教職員アンケート	3.1	30%	50%	20%	0%			
			年度末										生徒アンケート	3.8
学校関係者評価員の所見				学校の対応										
5 組 織 ・ 運 営 に 関 す る こ と	学校運営の推進 ○ 教職員の信用保持	服務規律の遵守し、信用保持に努めることができたか。 目標値:教職員の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇高い意識をもって勤務できている。引き続き「ちょっと」「これくらい」という安さ考えに流されないよう働きかけていく必要がある。 ◆今後も事あるごとに、服務規律の遵守と、信用保持について研修を重ねていきたい。	教職員アンケート	3.6	60%	40%	0%	0%			
			年度末											
	学校関係者評価員の所見				学校の対応									
6 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	開かれた特色ある学校づくり ○ 家庭や地域との連携の強化	学校の取組みに対する情報発信と情報受信に努めることができたか。 目標値:教職員、保護者、地域住民の80%以上が肯定(平均値3.2以上)でA	中間期	A	◇各種便りやホームページ、まちcomiメールで積極的に発信し、学校の取組や生徒の様子を知らせてきた。 ◆引き続き、内容の充実を図り、保護者や地域の方にとって有益な情報発信源となるようにしたい。	保護者アンケート	3.4	40%	60%	0%	0%			
			年度末										地域住民アンケート	3.7
	学校関係者評価員の所見				学校の対応									
その他・自由意見	学校関係者評価員の所見		学校の対応											